

〈学校教育目標〉
自分も友だちももっと大切にする泗水東っ子の育成

「育てたい力」(資質・能力)
「みとおす力」 「やりぬく力」 「つながる力」

〈校内研究テーマ〉
児童が主体的に関わり、伝え合おうとする授業づくり
～学びを見つめなおし、学びを“つなぐ”取組を通して～

〈仮説1〉学びをつなぐ授業づくり
児童が学習リーダーとなり、前時の振り返りや学習のキーワードを考えさせる学習過程を設定したり、自分の考えを自分の言葉で伝え合うペアやグループ、全体交流の工夫を図れば、学びを実感できる児童の育成につながるだろう。

- ①学習リーダーを中心とした学習過程の工夫
- ②学び合いの活性化
- ③ICT 機器の効果的な活用

〈仮説2〉学びをつなぐ素地づくり
児童の課題の把握から、基礎的・基本的な知識・技能や、題意を読み取る力を高めるための適切な学習活動を取り入れれば、主体的に学び、学びを実感できる児童の育成につながるだろう。

- ①学習規律の徹底
- ②基礎的・基本的な知識・技能の徹底及び読解力を高める活動の充実
- ③家庭学習の工夫

学びの見つめなおし

- ① 県学力調査をもとにして、観点や領域の分析、把握をする。(強みと弱みの把握)
- ② 具体的な問題を通して、課題の分析を行う。
- ③ 課題を解決していくために必要な知識技能、思考力判断力表現力の分析を行う。
- ④ 学びの素地づくりのための取組を洗い出し、実践することで深く学ぶ授業づくりに生かす。